

平成13年2月15日

各 位

会 社 名 松 田 産 業 株 式 会 社  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 松田 洋  
(コード番号 7456 東証第2部)  
問い合わせ先 取締役経営企画室長 熊谷靖彦  
電 話 番 号 03-5381-0001(代表)

### 平成13年3月期の通期業績予想の修正について

平成12年11月15日の中間決算発表時に公表いたしました平成13年3月期(平成12年4月1日から平成13年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

—記—

#### 1. 連結業績予想

通期(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	81,000	3,828	1,726
今 回 修 正 ( B )	82,000	4,400	1,950
増 減 額 ( B - A )	1,000	572	224
増 減 率	1.2%	14.9%	13.0%
(ご参考) 前期実績(平成12年3月期)	74,871	2,424	1,124
前 期 増 減 率	9.5%	81.5%	73.5%

#### 2. 個別業績予想

通期(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	80,000	3,740	1,660
今 回 修 正 ( B )	81,000	4,300	1,900
増 減 額 ( B - A )	1,000	560	240
増 減 率	1.3%	15.0%	14.5%
(ご参考) 前期実績(平成12年3月期)	74,202	2,409	1,088
前 期 増 減 率	9.2%	78.5%	74.6%

### 3. 修正理由

(1) 個別業績において、売上高 80,000 百万円、経常利益 3,740 百万円、当期純利益 1,660 百万円を計画しておりましたが、以下のような各部門の状況を背景に、業績が前回予想を上回る見通しとなりました。

#### ① 貴金属事業部門

上期同様、当事業部門の事業環境のうち半導体・電子部品関係が好調に推移し、主力の金ボンディングワイヤ・貴金属化成品の販売、貴金属リサイクル原料の回収量が当初予想を上回る伸びを示した。また、特筆すべき事項としては従来取組んでいる歯科関係からの貴金属回収量も着実に増加し、一部白金族高騰の恩恵も受け、合わせて利益貢献した。

#### ② 環境事業部門

環境事業部は、ISO14000 等による企業の廃棄物排出量の削減努力により厳しい環境下に置かれたが、営業努力によるシェア拡大を図りほぼ予算並みの利益を確保している。

#### ③ 食品事業部門

引続き、食品加工メーカー向けの魚介類・畜肉類・野菜類の取扱いは上期同様手堅く推移しており、外食事業の伸長などもあり、環境事業同様ほぼ予算並みの利益を確保している。

その結果、生産部門における合理化によるコストダウンとも相俟って利益率がさらに改善されたことにより、売上高は若干の改善にとどまったものの、利益面では大幅な改善になる見込みであり、経常利益は 4,300 百万円、当期純利益は 1,900 百万円を見込んでおります。

(2) 連結業績につきましては、連絡対象各社の業績見込みが概ね計画通り推移いたしておりますので、個別業績の変動分を修正いたしております。

以 上